


参加賞作品

選考結果	会社名	活動テーマ	活動内容	活動効果	活動種別
参加賞	株式会社私電社	CO2排出の削減	1) i-PADのスパイダーグラス活用による現場チェックの試用 ・期待効果: 紙での社員間の引継が減り印刷物削減 ・実施細目: 照度測定利用 現場チェック利用 2) 重量物搬入でタワークレーンの積極的利用 ・期待効果: ラフタワークレーン等の使用を削減し、重機往復及び橋重燃料消費分を削減 ・実施細目: 受変電機の橋重 (見込60 t以上級/1回の燃料節減)	目に見えるほどの効果はないが、地道なCO2削減の積み重ねにはなったと思います。 今後は手直しを削減することによる、ロスCO2を削減できるよう施工管理面も強化したい。	気候変動対策
参加賞	株式会社竹証	有機溶剤管理問題及び環境衛生改善に伴う、積極的な塗料の水性化促進	塗装工事において、内部部材・木部関係の塗装仕様はSOP (告知期間調査ペイント) が設定されていますが、このSOPは製品特有の諸所異質問題や、人体に悪影響を与える可能性のあるVOCを含んでおります。 室内環境改善対策として人体に悪影響を与える可能性のあるSOPのような溶剤作業から、VOC含有の極めて少ない水性塗料への移行を全現場共通採用で進めております。 現在の水性塗料は、従来のSOPと比較して完全な塗膜としては一般環境下で、ほぼ同レベルの性能を有しますが、作業・仕上げ面では水性塗料の特性であるレプリング性 (平滑性) の悪さなどから、SOP同等の仕上げが難しかったのですが、弊社でここ数年取り組んできた吹付工法確立によって数多くの現場実績を積み、今後も自信をもって水性化を進めていく活動を継続中です。 塗装完了後に関しても注意喚起表示徹底の上、どうしても傷等発生した場合は、ローラーの内部に空気を入れない無泡ローラーや、ネールアート等に使用するエアブラシ工法も用いての補修も可能です。 昨今の労務不足や女性職人への配慮を含め、環境衛生を整備する事も、それらの問題改善にも繋がっていくと考えております。 塗料に含まれるVOC配合率 エチルベンゼン含有量 SOP平均 33.5% SOP平均 1%以上 水性塗料平均 0.3% 水性塗料 配合せず	○現場で保管する有機溶剤量の低減。 ○自社・他社の職方ともに作業中の臭気クレームや、有機溶剤中垂リスク低減。 ○副資材である防毒マスクや、換気設備のコスト削減、廃棄物抑制効果も。	建設廃棄物発生抑制
参加賞	株式会社日興社	地球環境に配慮した環境保全、環境負荷低減に向けた活動	1. 密着型UV硬化剤の採用により、UV硬化剤の排出量を削減し、VOC削減に貢献しています。 2. 環境関連法規や条例等を遵守しています。 3. 環境負荷の低減のため以下の活動に取り組んでいます。 ① CO2排出量の削減のため節電を継続し、化石燃料削減のため社有車の見直しを進めています。 ② 材料の納入については納入者にムダ・無理のないルート指定、持ち受け時のアイドリングストップを指示しています。 ③ 節電のために導入した「エネファーム」に関連し、都市ガスの使用量の削減に取り組んでいます。 ④ 排出する廃棄物の削減と分別の徹底を行なっています。 ⑤ 排水処理量の削減のため節水に努めています。 ⑥ 洗浄用トレンの代替品を検討・模索し、化学物質対策の推進を図っています。 ⑦ 施工する際、環境配慮型項目 (有機溶剤) の削減に取り組んでいます。 ⑧ 低燃費車や消費電力の少ないオフィス機器への移行を推進、グリーン調達を推進しています。 ⑨ コピー用紙削減の継続だけでなく、コピー自体の削減も目指しています。 4. 地域社会と連絡を密にしながら環境保全活動、環境負荷低減活動を展開し、積極的な情報への入手、活動状況の開示を行なうと共に、適切な改善を図っています。	・ 図面の印刷削減のため、タブレット端末に図面を落とし込み、工事現場に持参するように改善しました。 ・ 災害協出席時、資料をタブレットで見ることにより資料の印刷も止めました。 ・ その資料は共有フォルダーに置くことで全員がいつでも見られるようにしています。	その他
参加賞	環境ワークス株式会社	シート養生の強風対策	シート養生を囲うときに風の通り道を作るため力所所にメッシュシートを使用	今のところ今日災害はなし	気候変動対策
参加賞	京業工機株式会社	通気性の良い作業服、遮熱ヘルメットの導入 (全社員分) 導入時期2022年5月	・通気性の良く、吸汗性・速乾性に優れた作業服 (長袖、長ズボン) の導入 ・遮熱材を素材として使用した、遮熱ヘルメットの導入	2021年の夏季は、約40名中2名の熱中症の社員 (社内監督、社内作業員) が出たが、2022年の夏季は40名中0名であった	気候変動対策
参加賞	長谷川工機株式会社	①環境配慮型燃料K-S1導入による燃費の向上 ②通勤車両をハイブリッド車に代替	①関東支店購買部様より環境配慮型燃料の紹介があったのがきっかけ。 環境に配慮しながら燃費の向上も図れると事で、2021年6月より保有する25tラフター1台に試験投入。 ここで問題なのが「ラフタワークレーンが1ヶ所の作業所に長期留め置きとなるケースが無い」為、稼働日数と走行距離等の比較は難しい。故に、単純な燃費の記録となってしまいます。 K-S1紹介時の実績データに基づいて、「少しでも環境に配慮出来れば」程度の取組です。 ②高工の現場通勤車両をダブルキャブトラック (ガソリン車) からハイブリッド車 (バン) に入替えた。 キャブトラックの際は燃費がℓ/7km走行だったのに対して、ハイブリッド車はℓ/18km走行と倍以上の燃費向上となった。	①2020年1年間の燃料使用量: 258t 稼働、年間燃料使用量が13,139ℓ (1日平均: 50.93ℓ) 参考実績 2021年6-12: 173.5t 稼働/8,875ℓ消費 (1日当り/51.15ℓ) 2022年1年間: 281t 稼働/14,705ℓ消費 (1日当り/52.33ℓ) ②既存で使用していた車両 (ℓ/7km走行) に対して入替後の車両 (ℓ/18km走行) となった	気候変動対策
参加賞	三興土木株式会社	環境アクションへの意識の向上	全社員に向けてSDGsにつながるコスト削減のアンケートの実施 回答を部署毎にまとめたものを配布し、一人一人が自分のことから実践していくかたちを促した。事務所の使用していないエリアの消灯、使用していないパソコン・プリンターの電源OFF、オートレベルの乾電池を充電式にかえる、ダンプ発進時のエンジンの回転数を1500回転以内でギアチェンジして燃費を良くする、急ハンドル急ブレーキを控える燃費の節約とタイヤに対して互換サイクルを長くするなど 熱中症対策として土木部全員に汗とリインナーキャップを支給 事務所内に塩あめ、塩タブレットを用意した	誰も居ない時にもつぎまじらした照明やパソコンが消え電気使用量が減少した。熱中症災害ゼロ。	気候変動対策 建設廃棄物抑制効果
参加賞	竹林塗装工業株式会社	“遮熱塗料で三暑対策!” 快適な夏生活、光熱費の節約、脱炭素CO2削減	遮熱塗料は節電、省エネ効果を発揮すると同時に脱炭素CO2削減にも繋がる、まさに一石三鳥の類もいえる塗料です。建物の屋根、外壁、窓ガラス (フィルムでも可) に遮熱塗料を塗布することにより、太陽エネルギーを跳ね除け、塗膜に熱を透過させない遮熱効果により真夏の日に室内温度をおよそ3~5℃下げる効果 (屋根面では10~15℃下がる、別項参照) があります。 近年の地球温暖化に伴う外気温の上昇により、遮熱塗料は最近では注目されるようになり、また需要と供給が少ないため、価格は一般価格に比べておよそ3割程度高価ですが、耐用年数 (15~20年) が長寿命 (シリコン等) の1.5~2倍伸びて屋根や外壁の寿命も長くなり、従って塗替えのメンテナンス費用が過半数に減少する、価格のデメリットを十分にカバーしています。特に住宅などで採用する場合は、CO2の削減効果により各自自治体からの補助金交付制度があるため、リフォーム時の外装塗替えの場合は利用する価値があります。遮熱塗料は、まずは一番身近で戸数の多い住宅やマンションから始め、次に人や物が集く工場やビル、駐車場、そして公共の道路、タンク、車両など、様々な熱放射が可能な箇所に塗布していくことで街や都市全体が脱炭素化され、電気エネルギーの削減と脱炭素CO2削減が国土のみならず、地球規模まで発展していくほどの大きな効果が期待できます。 現在遮熱塗料の商品メーカーは色々種類ありますが、当社が特にお勧めする塗料はミラクル (カタコト参照) です。当社社員関係者の持家の外装塗替え時は、このミラクルを採用してもらい、施工前と施工後の違いを肌で実感してもらい、営業の手助けとなっています。	太陽熱を反射し、温度上昇を抑え、快適な環境づくりに貢献できる。特に夏場はエアコンの温度設定を緩和することができ、夏場の電力不足の解消、省エネ (太陽光を約90%反射) や電気代節約 (最大40%節約) にもなり、発電時に発生する炭素ガスCO2の削減に大いに貢献できる。	気候変動対策
参加賞	株式会社群馬圧送	産業廃棄物の排出と環境破壊の軽減	コンクリート圧送作業後にコンクリートポンプ車に残った生コンクリートをホッパー内に集「残コン処理剤 (残コンスター) 」を投入 (2袋) し攪拌する事で砂・砂利状態にする。 攪拌時間はおよそ3分程度で作業は完了。 残コン処理剤添加後は硬化力が弱くなり人力的な力で簡単に壊す事が出来ます。 ホッパー内の水洗いも少量で済み、アルカリ水や低圧洗浄機での洗浄に配慮できます。 大量の残コンを処理する場合、ホイールローダー又はバックホウで攪拌するか、生コン車にダイレクトに投入し攪拌する事も可能です。 ※産業廃棄物の収集運搬資格を持たない圧送業者は残コンを積んだ状態で公道を走るとは法令違反となります。現場での処理が基本となるなか環境に配慮した取り組みとして上記活動をお客様にご説明させて頂いております	※ 昨年1年間で8現場契約・実施	建設廃棄物発生抑制
参加賞	遠藤硝子株式会社	エコアクション21の認証継続の中で、エコ活動を日常化する	①事務所内、エアコンの設定温度を夏季28度冬季20度に設定し、クールビズ・ウォームビズを推進した ②リサイクル率を向上させるための、ガラス屑 分別方法の徹底を行った ③デモ機を用いた、環境配慮型商品の営業を行った	環境配慮型商品の営業に関して、店頭・WEB・SNSの発信で、月平均10件を超えた。	気候変動対策 建設廃棄物発生抑制
参加賞	丸善運輸株式会社	環境保全団体への寄付	弊社は、昨年引き続き各作業所様から排出された産業廃棄物を弊社中間処理施設へ搬入した際、廃棄物500kg毎に5円を「北海道環境財団」へ寄付する活動を行っております。	期間: 2022年4月~2022年12月まで 合計: ¥98,179 寄付	気候変動対策
参加賞	株式会社朝日組	環境配慮 熱中症対策	①京都中央卸市場第一市場水産棟整備工事の及びその他作業所において、当社重機においてK-S1を使用し、引き続きCO2削減に取り組んでいる ②当社現場従業者19名にベスト型空調服を2022年4月15日に配布し、早めの熱中症対策に取り組まれました。		気候変動対策
参加賞	株式会社 共鉄工業	ペーパーレス化	①これまで鉄筋工事の積算及び加工材拾い出しを行う際、A0~A4の図面他拾い出し作業に必要な資料印刷を行いペーパー等を使用して記入しながら作業を行ったが、PCモニターを2~3枚に増やし、紙に印刷からPDF化印刷に切り替えて、ソフトウエア上でマークキングマーク作業に切り替えてペーパーレス化を行った ②CADソフトや鉄筋加工機ソフトも導入して積算者や職長にPC及びソフトウエアの操作方法等教育した ③見積書や請求書を紙ではなくPDF化印刷ソフトを使用し、紙ではなくPDFデータで保存する様心掛けた ④FAXの送信時も一旦紙に印刷する事無く直接PCから送信し、受信内容もデータ化を行っている	①K-S1をオペレーターが投入することにより、アイドリングストップ及びオイル等の点検を早めに実施し、さらに環境に対する配慮が見られるようになった。また市場屋内での重機作業が多くあり、少しでもCO2の削減が出来て、作業員の健康への配慮が出来た。 ②ベスト型空調服の早期の普及により、熱中症は発生しな ③ペーパーレス化だけでなく作業効率が向上した ④書棚が削減できて作業スペースが増え、作業環境が良くなった ⑤FAX送信するだけの印刷物を削減できた、受信内容も紛失がなくなりアーカイブ利用できる ※データ化ペーパーレスを行う事により、PC内で必要資料やアーカイブを呼び出す作業の方が、紙の資料を手でめくるより大幅に早く容易で、電話しながらでも席を離れる事なく対応ができる	建設廃棄物発生抑制

選考結果	会社名	活動テーマ	活動内容	活動効果	活動種別
参加賞	有限会社 吉市工務店	地球温暖化防止のために、私たちにできるCO2削減の実行する。	①型枠加工作業時に、発生する木材の端材の処理について、10年前までは産業廃棄物として、産廃業者に有料で処分してもらっていましたが、現在は地元建材メーカーと提携して、稀種な木材の端材のみに、分別することにより、パーチクルボードの原料チップとして販売。1ヵ月に約1tの木材端材が発生しているため、年間12tの木材端材が、リサイクル出来ています。捨てれば、ゴミですが分別することにより、新しい製品の原料となり、持続可能なサイクルが出来ています。 ②型枠解体作業時に、発生する使用済み釘、セバの折かす、使用後の重線のくず、鉄類を積み積して、リサイクル業者に、販売しています。1ヵ月に約200kgのくず鉄が発生しているため、年間2.4tのくず鉄が、リサイクル出来ています。限られた資源を、リサイクルすることにより、新しい製品が生まれ、持続可能なサイクルが出来ています。 ③倉庫資材移動を、ガソリン燃料使用のフォークリフト2台を、電動フォークリフト2台に買い替えて、充電設備も設置して、今まで1ヵ月に、ガソリンを約50リッター使用し、年間600リッターのガソリン燃料を使用して、CO2も排出されてきました。現在はCO2排出は0です。電動フォークリフトは、はたらく人の安全を守る、排気ガスや有害物質の排出がなく、はたらく人の安全や、クリーンな労働環境を守ります。	①木材の端材のリサイクル 費用0 もし産業廃棄物処理の場合は、20万円以上費用負担増 ②くず鉄のリサイクル 買取費用 約10万円収入 ③電動フォークリフト ガソリン費用0 電気代はいくらかかります。	建設廃棄物発生の抑制
参加賞	株式会社 東和	自社での脱炭素への取り組みについて	①日報を紙ではなく、電子化した。 ②社用車をハイブリッド ③業務アプリ「ライワークス」を使い、社内連絡、アンケートなどに利用して、紙をなくしている。	①経費の削減が出来た(紙代) ②経費の削減が出来た(ガソリン代) ③経費の削減が出来た(紙代)また、リアルタイムに送受信でき、タイムロスがない。	気候変動対策
参加賞	株式会社 仙嶺	アスファルト防水工事現場における溶融釜を使用しない事でのCO2排出削減の削減の実施	当初設計時における 屋根防水施工予定箇所の設計に対してアスファルト防水熱工法→アスファルト防水冷工法に変更を提案しました。変更する理由として 1.当該施設廻り付近が、松本市内の観光スポットであり、臭気と煙の問題がある事 2.アスファルト防水コンパウンドの溶解時における火災の問題 3.アスファルト防水コンパウンドの溶解させる為に、使用する灯油の燃焼からの CO2削減 4.近隣住民から施工状況を見た際の火災と見間違える可能性がある事 5.アスファルト防水釜を荷揚げ・荷下ろし・移動等必要がある為、その都度のクレーンの必要性 6.資材が熱工法→冷工法になると使用数量が減少する事でロス材・廃棄物の減少につながる事 7.資材が熱工法→冷工法になると使用数量が減少する事で搬入車両の台数の減少につながる事	灯油をアスファルト燃焼させた場合の排ガスCO2量2.0kgを計算して計算し 松本基幹博物館施工のアスファルト防水熱工法→冷工法に変更した事で施工予定数量 200㎡ 施工回数 2回 1回あたりの施工数量 100㎡ 1日あたりの施工可能回数 20㎡ (施工人数2人施工) 1日あたりの灯油の使用量 20L 200㎡÷20㎡=10日 施工日数10日×1日あたりの灯油の使用量20L=灯油のトータル数量200L 灯油使用量200L×2.5kg=500kg 防水工事仕様変更させた事で、500kgのCO2削減を	気候変動対策
参加賞	株式会社 プラスト	熱中症対策 地球温暖化防止に向けてのCO2の排出削減	暑さ対策で空調服を購入して 現場管理者及び営業担当が着用し日々活動しております。 当社横浜ステールセンターの照明をすべてLED化し、CO2削減に努めております。 梱包材を減らすことによる梱包材の削減を心がけております。	社員及び協力会社作業員の環境に対する意識付け 電気代が低減しました。	気候変動対策
参加賞	株式会社エヌエスシーリング	シーリング材料のエコ化	聖マリアンナ医科大学作業所のSTEP2でシーカ・ハマタイト製のe-can (別紙参照)を採用したことにより、環境対策、資材置き場の縮小化を図ることができSTEP3工事も採用していく予定です。 ①従来のシーリング材 (他メーカー含む) の蓋は、金属製の缶に充填されたものを搬入し、使用後はその容器をつぶし廃材にしていた。 ②当現場では、多くの物量を使用するため容器のリサイクル化を実施し缶の廃材がなくなりました。 ③プラスチック製の容器 (リサイクル容器) は重ねて保管できるため資材置き場の縮小化を図れました。 ④従来は、ディーラーから材料を頻りに搬入していたが、まとめてメーカーからの直送することにより運送費を軽減した。	2022年1月～2022年12月 (STEP2) 2023年5月以降 (STEP3)	建設廃棄物発生の抑制
参加賞	株式会社アスワン	エコに対して意識付けの活動	①事務所内の設定温度を夏28℃冬20℃にし節電をした。 ②社用車を全てハイブリッド車への順次変更2022年度(3台) ③ウレタントラックのハイブリッド車への変更の検討2030実現へ(6台) ④ウレタントラックのシート型便車からアルム型便車への変更済 (外部へのコンプレッサーの音の軽減化) ⑤産廃ヤードでの細部までの分別する意識を全作業員で共有する事	①ウレタントラックの燃費に繋がりました。 ②外部に漏れる特有の音 (アシュン・プッシュ) が軽減されました。 ③産廃ヤードでの分別が当たり前の事だと意識づけ出来てきたと思います。 ④節電により電気代の上昇を緩和できた。	気候変動対策
参加賞	大久保硝子	住まいの環境エコ対策・夏の電気料金(冷房)削減対策	年々、環境温暖化による夏期の気温が異常なほど高くなる状況が続いているなか、電気使用料金も非常に高くなり、現状と逆行した情勢になっています。 特に夏場のエアコン(冷房)使用による支払い料金は、我々の生活費に大きな負担となります。 その大きな負担を少しでも軽減するために、自宅の東・西・南面の窓ガラスに近赤外線90%カットして、遮熱性も兼ねたバランスの良い窓用フィルム (別紙・資料) を貼り、電気料金の削減と室外機などからのホコリなどを合わせて軽減するエコ対策を昨年の7月～始めました。 補足ですが、フィルムの透明度も高く、外観を損なわない事、また、防犯性にも高いフィルムですので、防犯対策のコスト軽減にもなります。	夏場の電気料金が、20%程度、削減されました。	気候変動対策
参加賞	平岩塗装株式会社	排ガスの減少。 熱中症対策。	・工事管理者の社用車をハイブリッド車に変更している。 20台中、5台変更済み。 ・弊社の直轄工と専属の協力会社作業員の空調服を全員分支給して、夏場の作業の際は着用して作業にあたっている。		気候変動対策
参加賞	株式会社野村商店	野村グループSDGs推進アクション	野村グループ全事業所及び全社員は、SDGs推進アクションとして、下記の通り活動しています。 1.コピー用紙の裏紙を使用→ペーパーレス化を実施する。 2.ごみを分別し、リサイクルする。 3.ペットボトルキャップを収集することで、プラスチックの焼却を減らす。 4.マイバック、マイボトルの利用を促進し、プラスチック製品の使用を減らす。 5.海岸清掃などに積極的に参加する。 6.エコドライブ、アイドリングストップ。 7.事業所の屋根を補修の際、太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーを活用し、CO2の削減に努める。(事務所にて使用し、残り売電する) 8.工場の配管等に使用電力がわかる装置を付け 節電に努める	小さな事ですが、社員全員で取り組んでいます。 ペットボトルのキャップは1年間で、18,500個集まりました。	気候変動対策
参加賞	日経建設株式会社	緑のカーテン効果による事務所内温度上昇の抑制	玄関横打合せスペースが窓際であり、直射日光により温度上昇する為、ゴーヤの苗を植え、窓全体を緑のカーテンで覆いました。(写真①) また、実ったゴーヤを調理し、昼時に社員に振舞い、無駄なく頂きました。(写真②)  	日差しを遮ることで、室内温度の上昇抑制に繋がった。	気候変動対策
参加賞	株式会社きんそく	①熱中症対策 ②通勤車両の効率化	①熱中症対策として現場作業従事者全員に対し空調服 (ロゴ入り) を購入し貸与 対象期間以前から対策を実施 (対象期間: 15着、累計: 81着) ②作業所への車両相乗りを実施。できるだけ車両数を減らし作業所まで通勤	①熱中症1件 (軽症) ②CO2削減	気候変動対策
参加賞	ダイナン株式会社東北支店	・社員が利用する車両のハイブリッド化	・社員が利用する車両のハイブリッド化 ・社員が利用する車両を環境に配慮し徐々にハイブリッド化を進め導入率が96.7%となりました。今後100%になるように努めてまいります	ハイブリッド車を利用することによりCO2の削減に寄与しています。	気候変動対策
複数	ダイナン株式会社東北支店	・周辺地域清掃活動「仙台まち美化サポート・プログラム」	・周辺地域清掃活動「仙台まち美化サポート・プログラム」について 市民・事業者と行政のパートナーシップで取り組むまち美化システム「仙台まち美化サポート・プログラム」に参加し、仙台まち美化サポーターとして市が管理する道路や公園などの清掃や除草等の活動を定期的・継続的に進めています。2009年から始め、13年目となりました。	周辺地域活動については、近隣の住民の方からも感謝されています。	その他
参加賞	株式会社 ヒロタ	廃棄物の削減	毎回梱包、出荷用木パレットを中止 ↓ 鉄ラックに変更、使用後産廃を都度回収・再利用する事に。	現場稼働時10ラック以上の木パレット廃棄をゼロにする事が可能	建設廃棄物発生の抑制
参加賞	株式会社 エフ・ケー	一般塗料での遮熱効果	屋根表面遮熱効果 建物内部への熱量の進入を防ぐ。	屋根表面温度の上昇遮熱効果 4℃から5℃	気候変動対策

選考結果	会社名	活動テーマ	活動内容	活動効果	活動種別
参加賞	新谷建設株式会社	型枠材の変更	柱在来型枠から、システム型枠に変更 庇在来型枠から、PC型枠に変更 スラブ型枠の工法変更→クイックアップ工法を使用し、使用材料の提言、運搬時の排気ガス低減	資材の搬出入車両台数が減りCO2の排出削減 作業員の歩掛りがあり、当初の予定作業員人数が減り通勤車両の削減、CO2排出削減につながった。 木材の残材発生が減少した。	気候変動対策 建設廃棄物発生の抑制
参加賞	新谷建設株式会社	残材の提言を目標そう	基礎型枠施工時に、弊社加工場にある在庫の基礎パネルを使用し現場加工を減らし残材の低減に努めた 現場及び加工場からでる木材の残材をリサイクル工場に運び、チップ化している	リサイクル率の向上 作業員の意識向上	建設廃棄物発生の抑制
参加賞	大栄開発株式会社	燃料使用量の削減と作業環境へのサポート	①作業所において環境配慮型燃料（K-S1）をバックホウ・大型ダンプに利用した。 ②宿泊所から大型ダンプ駐車場まで、専用の通勤車両を用意し相乗りした。 ③スリビット積込にハイブリット重機を使用した。 ④暑さ対策として空調服を作業員に支給。 ⑤盛土工事に於いて、自社機によるICT施工をお願いした。（丁張設置や進捗状況に合わせた測量作業が減少する。 熱中症対策にもつながる）※現在、施工準備中。（BH0.7MG、D61PX MC）	2022年1月～2022年12月	気候変動対策
参加賞	大尊工業株式会社	GTL燃料使用によるCO2削減	弊社所有の掘削重機をGTL燃料に変更し使用しました。 弊社受注案件での掘削に使用する重機を、協力会社への主旨説明ののち燃料を軽油からG T L 燃料に変えた	2022年4月～2023年3月までの1年間のGTL総燃料 215,410.2 L使用 通常の軽油使用と比較してCO2排出量-47,390.2 kg の削減になりました。	その他
参加賞	滝沢重機興業	公共交通機関活用によるCO2削減（378-クルー/回送数削減）	公共交通機関活用により 378-クルー/回送数を減らすことでCO2の排出量を削減する		気候変動対策
参加賞	石井硝子	産業廃棄物の削減	ガラス屑を異物が付着したものと綺麗なものに分別し、最終処分となる廃棄物の量を削減する	6㎡程度のガラス屑をリサイクルとした。	建設廃棄物発生の抑制
参加賞	株式会社大場通園	太陽光発電による再生可能エネルギーの利用	会社事務所の屋上に太陽光発電装置を設置し、事業活動で使用する電力を太陽光発電で賄う。	太陽光発電導入前の1年間の電気購入量17,770kWhに対し、2022年1月～2022年12月の電気購入量は5,695kWhとなり、約32%まで減少した。 東京電力エナジーパートナー株式会社の基礎排出係数をかけると、約5.5 tのCO2を削減したことになる。	気候変動対策
参加賞	開成鉄務株式会社	環境配慮	トラック等のアイドリングストップをできる限り実行している。	廃棄 ガスが 減る	気候変動対策
参加賞	開成鉄務株式会社	環境配慮	現場代理人の車 えお全てハイブリッド車にしている	ガソリン使用量の減少	気候変動対策
参加賞	開成鉄務株式会社	省エネ	冷暖房の温度を、通常より1夏は高く冬は低く設定している	省エネ	気候変動対策
参加賞	開成鉄務株式会社	廃棄物を減らす	極力社員全体にエコバックを推進している	廃棄物の減少	建設廃棄物発生の抑制
複数	開成鉄務株式会社	環境配慮	現場へ行く車の台数をできるだけ減らして、1台に纏めていこうとしている		気候変動対策
複数	開成鉄務株式会社	省エネ	待機電力を削減するために主電源を切り、使用しない時は、コンセントを抜くようにしている	省エネ	気候変動対策
参加賞	松尾金属株式会社	CO2削減と働き方改革	1. 会社社屋と板金工場での電力を再生可能エネルギー由来の電力にして契約変更している（日本テクノ（株）） 2. 会社社屋に太陽光を設置（出力12kw）して、電力を利用している 3. 会社板金工場の水銀灯をLEDにすべて交換し使用電力量を減らした 4. 会社社屋事務室を蛍光灯からLEDに交換し使用電力量を減らした 5. 暑さ対策で空調服を購入して作業員が着用した（全員） 6. 現場で使用する溶接機を国土交通省新技術情報システム（NETIS）登録製品の自動アイドリングストップ機能付エンジン溶接機に変更した。	・電気料金のコスト削減 ・溶接機の使用燃料のコスト削減 ・加工工場における照明がこまめにON・OFF出来る様になり、使用電力の削減になった。	気候変動
参加賞	三谷商事株式会社	CO2排出削減を目的とした生コンクリート製造	当社直営の、仙台中央生コン（生コンクリート製造工場）にて、CO2排出削減を目的とした、生コンクリートを製造しております。 内容：高強度コンクリート 仙台市内の建設現場に納入 通常の生コンクリートは普通セメントを使用するのに対して、高炉スラグを40%程度置換した、高炉セメントを使用し、更に、フライアッシュをセメント量の20%置換して使用。 これにより、セメント製造時に発生するCO2を削減し、環境負荷低減に貢献しております。	出荷数量100㎡	気候変動対策
参加賞	株式会社大朝業	地域温暖化対策	1. 作業所への通勤車両台数を相乗りする事により減少させた → 不用なアイドリングを減らそうと従業員全員に周知し、実践した → その結果、燃料消費量が減少し、CO2排出削減につながった 2. 暑さ対策として、作業員全員(34名)に空調服を支給して、着用して作業を行った → その結果 休憩時間のエアコンの使用の減少と、熱中症予防にも繋がった 3. 事務所に輻射冷暖システムを導入した → 壁や天井を冷やしたり温めたりすることより、高い冷暖房効率があるため、高い省エネ効果があった。また、風のない冷暖房システムなので、コロナウイルス対策にも繋がった	上記活動により燃料消費量が前年比10%減少し、事務所電気料金は前年比15%減少した	気候変動対策
参加賞	株式会社谷藤組	電子化によるFAX紙の削減	会社業務の連絡報告ツールとしてFAXは未だ利用されています。 紙の使用を減らし環境への配慮を目的として本社、支店、営業所のFAXとコピーの複合機を新規に導入した。 特にFAX送受信の電子化によりペーパーレスでFAX業務を行う事が出来た。 又、CFPを活用したカーボンオフセット製品(キャンボン複合機)の使用に伴うCO2排出量相当分のオフセットを行った。 	FAXを電子化することでペーパーレスにする事が出来ました。	その他
参加賞	太平洋建設工業株式会社	①低炭素型コンクリート製品の製造について	・カーボンニュートラルの取り組みの一環として、二次製品（流し込み品目）の使用セメント品種を早強セメントから高炉B種セメント等へ移行するべく社内全体で検討中です。 ・主要原材料の変更となるため、配合設計、強度、養生状況等のデータの確認と精査に時間を要するため採用後完全移行となるまでにはもう暫くの猶予期間が必要となります。	・現在、社内全体で検討作業継続のため、現時点での明確な効果・結果等は得られておりません。	気候変動対策

選考結果	会社名	活動テーマ	活動内容	活動効果	活動種別
参加賞	高橋重機興業	CO2排出削減（燃料使用削減）	①4次排出ガス規制適応の機械の積極的導入 ②クレーン運転時、「エコモード」による運転指導 ③エンジンフィルターのこまめな清掃及び交換による、エンジン効率ダウンの防止 ④燃費時、クレーン停止時のアイドリング停止及びバスターヒーター（エンジンをかけていなくても暖房になる車内のFヒーター）の使用 ⑤事務所内の照明をLED照明としている	売り上げ1億円当たりの燃料使用量が、2020年1年間より削減した	気候変動対策
参加賞	栴井場工業所	カーボンニュートラルへの取り組みと熱中症対策について	・営業車2台（ガソリン車）をハイブリット車に変更。 ・会社所有の車全車、燃費向上の高エコタイヤに変更。 ・現場使用の投光器を白熱球タイプからLEDタイプに5個変更。 ・マンション、民家等での近隣への騒音対策、二酸化炭素排出への削減のため、電気式トコウェル1台購入。 ・熱中症対策 ・経口補水液の携帯が従業員より難しいとの指摘があり、タブレット型（ORS）の経口補水液を購入し配布した結果、直接飲用・水に溶かす両方のタイプで使用できると好評でした。その結果、熱中症事故がありませんでした。	・営業車全体での燃費向上2% ・ハイブリット車2台でのガソリン代が前年比の半分以上。 ・熱中症ゼロ。	気候変動対策
参加賞	内海運送(株)	暑さ、寒さ対策	夏は空調服、冬はヒーター内蔵ベストを全社員に配布した。	暑くても長袖が着ることができ、日よけになり寒くても運転席にて厚着をせずに済みました。	気候変動対策
参加賞	アオケン株式会社	環境に配慮した施工活動	CO2の削減として一従来のアスファルト防水熱工法を環境配慮型のアスファルト防水常温工法に変更し現場より排出されるCO2の削減に努めた。 プラスチックごみの再資源化→プラスチック製品であるシーリング容器を回収しリサイクルに努めた。	CO2の削減。 廃材の削減	気候変動対策
参加賞	双葉資材	環境配慮・作業効率の向上	作業所(現場) 通勤車両を相乗りするようにした 公共交通機関で通える作業所(現場) の場合は公共交通機関を積極的に利用させた。 熱中症対策として全作業員に空調服を支給した。	相乗りする事によりCO2排出量を削減した。 公共交通機関を利用しCO2削減に配慮を行った空調服での熱中症対策を行い、暑さから作業効率低下を軽減した	気候変動対策
参加賞	株式会社キムラ	節水対策	自分は会社（防水工事）に入って半年です。 工事現場には2件程しか経験がありませんが、今回は節水をテーマに挙げました ・トイレでも手動で水を流すところでした。水が止まらず、水がそのまま出ていたところもありました。 ・現場での作業靴でも水道水を使用していた。 対策として夏期の内容を挙げます ・トイレは自動センサー等を設置すれば、忘れることなく自動で止まるので、節水になると思います ・作業靴とか道具類も水道水ではなく、雨水を溜めて利用することで節水になると思います。		
参加賞	城北電気工業株式会社	電気使用量の削減、エコカー導入及びエコドライブと安全運転の実施（群馬県環境GSの積極的展開）	1.省エネルギー 太陽光発電の利用により電気使用量の削減 冷暖房設定温度の調整(夏は28度、冬は22度) 夏はブラインド等により直射日光を遮断し、冷房効率を向上させる。非使用箇所の消灯及び消灯時間の設定（昼休み等） エコ運転の取組み（自宅が近隣の従業員には自転車通勤を奨励する） 2.廃棄物減量化 ゴミ分別・廃棄物の細分化(3Rを推進、実行) 環境問題（食品ロス削減等）に配慮した社員教育の実施 働き方改革や業務効率化による就業時間（残業時間等）を短縮 3.その他 車輪のハイブリッド化及び新型車の定期的な導入で燃費向上を促進、急停車を無くして省エネ運転の励行 交通） レールに則り安全運転を実施	弊社の活動は、2022年4月1日～2023年3月31日です。（使用データは都合3月～2月となっております）結果につきましては別紙参照（『車両用燃料費比較表』『電気使用量比較表』各2カ年分） 車両の燃費は、18.5km/Q（前年17.3km/Q）で対前年比は計画案18.0km/Qも上回ることでできました。使用電力量は、目標計画案を達成できませんでした。夏の暑い日が長く続く一方で冬の寒さが厳しい一年だったこともあり、エアコン類の結果と思われます。着衣も検討材料とし2023年4月からの対策とします。	気候変動対策
参加賞	株式会社三和鋼業	中間処理施設でのCO2排出量の削減	篠栗SRCの選別施設・破砕施設（がれき類・木くず）全ての設備を電気で稼働しています。 これらの施設への電力は選別処理施設屋根に設置された太陽光発電にて実質まかなっています。 また、選別施設内に2台（全5台中）・木くず破砕施設に1台の電気式BHを設置しており、化石燃料に頼らない施設運営を目指しています。 選別施設内は自然光を生かした外壁設計をし、使用電力の削減にも努めています。 営業車両として1台の電気自動車を使用しておりますが、昨年、場内移動用に電気自動車を3台導入し、ガソリン・軽油の使用量削減に努めています。 長期環境目標として、2030年度までにCO2排出量46%削減を目標とし、現在27%削減まで進捗（2021年度実績）しています。		
参加賞	株式会社 山忠	弊社に於ける省エネルギーの取組み	①弊社本社営業部受付ロビー兼打合せコーナーの天井照明をLED化 ②同上の天井埋め込み空調機を節電型（インバーター式）へ変更 ③社有車のハイブリッド化	①電気料金が軽減され、照明も明るくなった。 一以前は蛍光灯を2本使用していたが、LED化に伴いLED灯1本でも充分に明るい照明となった。 ②高効率のエアコンを適切な温度管理で運転し、不要時は使用停止にするなど節電に努め電気料金が軽減 ③社有車のハイブリッド化や、適切なタイヤ空気圧の管理により燃費が改善され、燃料費が軽減	
参加賞	株式会社 角藤	地中熱利用システム（一次側）施工における環境負荷削減を実現する。 新商品開発による挑戦と実証。	地中熱交換器（Uチューブ）を新規開発し現場施工時のツールでの環境負荷低減を狙う。 開発のきっかけは、高い省エネ効果を得られる地中熱利用システムですが施工費が一般的な空調方式と比較するとインシヤルコストが高いことを指摘されておりました。そこで地中熱交換器設置の施工費と施工の部ツールでの環境負荷低減を同時に実現する新商品（扁平型Uチューブ）開発に挑戦しました。 ①地中熱交換器は深さ75～100mに電設します。ここでほとんどは掘削後に着目しました。従来の円形地中熱交換器は掘削径インチでなければ設置できません。4インチで掘削、電設ができれば施工スピード、投入する材料、建設副産物が減るだろうと仮説を立てました。 ②従来の円形（25A）地中熱交換器と同じ表面積を持つ新しい熱交換器（扁平型（25A相当））を設計し、製品化に成功しました。 ③新しい熱交換器（扁平型）と従来型の熱交換性能とを施工にかかる時間や材料使用料などを比較するために角藤長野工場（長野県）と山梨県の2箇所それぞれを施工しデータの収集を行いました。 ④施工にあたって収集したデータの内容は以下の通りです。 1.掘削径4インチと6インチでの掘削スピードの比較（掘削時間の短縮は可能か。） 2.新しい熱交換器（扁平型）と従来型と比較して充填材の削減は可能か。 3.新しい熱交換器（扁平型）と従来型と比較して建設副産物（発生土）の削減は可能か。	実際に施工し得られたデータから分かったこと 1.掘削スピードは向上し施工時間を平均で16%短縮することが分かった。（掘削機稼働時間が短くなることで掘削機から排出されるCO2排出量削減） 2.掘削径インチダウンに伴い、充填材の使用量を平均50%削減することが分かった。（運搬車の台数削減と運搬時に排出されるCO2排出量削減） 3.掘削径インチダウンに伴い、発生土（産業廃棄物）は平均30%削減することが分かった。（搬出（積み込み、運搬）時に排出されるCO2排出量削減） 上記1～3より新しい熱交換器（扁平型）と従来型熱交換器を比較すると、現場におけるツールでの環境負荷低減が可能であることがわかった。 今後、社会的に要求されるであろう、建設現場でのCO2排出量抑制に貢献	気候変動対策 建設廃棄物発生量の抑制
参加賞	小林建設工業(株)	CO2排出削減	社用車をハイブリッド車に変更した 現場にて使用した型枠材を持ち帰り再利用できる物と分別してできる限り再利用した		気候変動対策
参加賞	小松ウオール工業株式会社	カーボンニュートラルの推進と熱中症対策	①本社工場のフォークリフトをバッテリーフォークにした ②本社工場のLED化 ③小型貫流ポンプの導入 ④塗装プロセス改善 ⑤エコレールマーク認定 ⑥空調服の支給 ※詳細はエクセル資料を参照してください。	CO2の排出量削減 1,764t-CO2 ※詳細はエクセル資料を参照してください。	気候変動対策 その他
参加賞	町田建設工業	漆喰塗り普及によるCO2削減	左官材である「漆喰」 漆喰はCO2を吸収・調湿効果・においの吸収・耐火性と非常に環境にいい材料です。 たくさんの人に漆喰の良さを感じていただくために、漆喰を住宅に使用すると補助金が出る制度を栃木県に対して活動しました。	添付資料	その他

選考結果	会社名	活動テーマ	活動内容	活動効果	活動種別
参加賞	MSジャパン	①太陽光発電によるCO2の削減 ②自社トラックによる材料配送時の空重量の削減	①社屋上への太陽光発電パネルの設置によるCO2の削減 2023年発電実績：49,500kw 2023年CO2削減量：25,342kg ②自社トラックによる材料配送時の空重量の削減 配送距離合計 132,372km 自社トラックのCO2排出量：17,175 L CO2排出量398,46kg トラック直送による配送の場合のCO2排出量(4t車)：132,372km/5km/l = 26,474 L CO2排出量 61,419kg 61,419-39,846 = 21,573kg ①+②=46,915kgの削減	CO2の削減実績 46,915k	気候変動対策
参加賞	前正建設店	持続可能な開発目標SDGs	現在までに、社用車6台をガソリン車からPHEVプラグインハイブリッド車1台とハイブリッド車5台に買い替えました。 行く行くは全車ハイブリッド車に、それから電気自動車（EV車）に変えていく計画です。	ガソリン消費量が以前の40%に減少したので、CO2の削減も効果がでたと思われます。	気候変動対策
参加賞	東光電気	社ビル及び大井作業所において再生可能エネルギー電力及び非化石証書購入で契約している	I 本社ビルの電気を東京電力エナジーパートナーの再エネメニューに変更、実質再エネ100%を図りました。なお、弊社保有の川内村太陽光発電所をトラッキングしています。 II 弊社交通事業部の大井作業所の電気に非化石証書を購入、実質再エネ100%を図りました。非化石証書の購入は仲介事業者（㈱ホールエナジー）に委託、弊社保有の川内村太陽光発電所をトラッキングしています。	I 年間457トンのCO2排出量の削減を行いました。 II 年間36トンのCO2排出量の削減を行いました。	気候変動対策
参加賞	総合設備	夏の暑さ対策	現場作業員及び現場管理者に空調服の支給	熱中症災害ゼロ	気候変動対策
参加賞	太陽ヒロセ	暑さ対策で空調服を購入し職員が着用した。	施工管理担当者全員に空調服を購入し、配布。 長時間使用するので、予備電池も合わせて配布。 朝礼時から終業まで着用した。	高温下での現場管理では熱中症の発症は無かった。	気候変動対策
参加賞	株式会社三友	環境保全資材の利用	・市へ納品する備品について産廃網を張地として使用したイスを提案し採用され納品に至った。 ・再生木材を利用したウッドデッキ工事を施工した。	・目に見る効果は出ていないが、行政も一体となってカーボンニュートラル社会を実現していく取り組みを継続していく。	建設廃棄物発生抑制
参加賞	福永建設	バックホウの燃費向上及び環境負荷低減	2019年より残土の集積・横込み作業を行っている。 当初から燃料は軽油を使用していたが、2021年7月より燃料促進剤K-S1を添加している。 【K-S1添加なし】 2020年1月から12月の排出土量は12,942m3で、燃料使用量は8,262ℓであった。 1リットルあたりの仕事量は1.57m3/ℓ。 【K-S1添加あり】 2022年1月から12月の排出土量は15,997.5m3で、燃料使用量は9,545ℓであった。 1リットルあたりの仕事量は1.68m3/ℓ。 土量は2年とも横込台数4.5m3とする。 使用重機、作業環境ともに同一条件である。	上記により、燃費の向上によるコストの削減、Co2の削減効果がみられた。	気候変動対策
複数	日興社	エネファームを利用した電力量の削減（節電）	弊社は「エコアクション21」推進に伴い、8年前から東京ガスの「エネファーム」を導入し、電力量削減に取り組んで参りました。 しかし電力量が削減できてもその分都市ガスの使用量を管理しなくては片手落ちです。 このため導入した8年前から都市ガスの使用量の管理も行い、その削減にも努めて参りました。 今回設置から8年を迎え集計結果が出ましたので資料を添えて報告致します。	CO2削減量 8年間で森18、樹木88本 年平均森2.25、樹木11本	気候変動対策
参加賞	不二産業	資源の節約	・社内書類の電子化 FAXや社内書類を電子化し、コピー用紙の使用を抑える。 ・リースカーのハイブリッド車入れ替え ガソリンの消費量を抑えるため、すべての社用車をハイブリッドに変更	紙の消費量は前年度より約20%使用量を削減できた。	建設廃棄物発生抑制
参加賞	株式会社カミムラ	大型搬入車輛の削減	本来、大型車で搬入する物量の製作金物を、常時通動車輛(トラック)で小分けに搬入している。 必ず必要な通動車輛で搬入し、大型車輛の搬入を削減している。	大型搬入車輛 前橋～常総への往復燃料(CO2)削減約10台分	気候変動対策
参加賞	泰成重機	クリーンエネルギーを使用しCO2、NOx、PMの低減(Part2)	【クローラーレーンにGTL燃料の継続使用を実践した】 2021年は5作業所に使用 2022年は9作業所に増やし、周辺環境の抑制に努め継続的な環境活動を行った 作業所名 <2021年1-12月><2022年1-12月> 渋谷駅坂口再開発 14,249 L, 6,972 L 東洋大学赤羽台新校舎3期 12,949 L, 9,156 L 千葉県総合救急災害医療センター4,785 L, 14,773 L 都立大日野6号館新築 986 L, 5,476 L, 2,699 L 摩加市新庁舎 2,447L 新TODAビル計画新築 18,374L DPL久喜富代 17,491L グッドマン常総 58,375L GLP浜山W 22,382 L 合計 35,416L 115,698 L	2021年・・・5作業所35,416L→軽油と比較して7.79t-CO2削減 2022年・・・9作業所155,698L→軽油と比較して34.25t-CO2削減 よって、GTL燃料の利用量を増やしたことにより、1年間で更に26.46t-CO2の削減を図った	気候変動対策
参加賞	金子組	・CO1削減	・CO2削減のため、環境配慮型燃料（KS-1）を使用した。	CO2削減効果：26.73(t-CO2) 期間：2022年度実績	気候変動対策
参加賞	水谷建設	・CO2削減	・CO2削減のため、環境配慮型燃料（KS-2）を使用した。	CO2削減効果：6.05(t-CO2) 期間：2022年度実績	気候変動対策
参加賞	東名	・CO3削減	・CO2削減のため、環境配慮型燃料（KS-3）を使用した。	CO2削減効果：6.67(t-CO2) 期間：2022年度実績	気候変動対策
参加賞	伊藤工務店	・熱中症対策	・熱中症対策として作業員に空調服を支給した。	支給数：34名 期間：2022年度夏季 実績	気候変動対策
参加賞	大港鉄筋	・熱中症対策	・熱中症対策として作業員に空調服を支給した。	支給数：15名 期間：2022年度夏季の実績	気候変動対策
参加賞	株式会社菅野左智店	建設副産物対策・再使用	左官工事において使用した接着剤溶剤が入っていたバール缶を水を貯めておく水缶、繰り返し合わせた材料運搬具として使用した。	主な活動作業所（サンデー仙台市卸町計画）の工期が2021年7月1日～2022年2月28日と原則期間内2カ月でバール缶20缶の発生抑制をすることが出来た。	建設廃棄物発生抑制
参加賞	志村工業	電気使用の見直し、省エネの自覚	①令和4年4月12日に電気契約を見直しました。変更前：東京電力12kVA37kw、変更後ビジネスTEPCO スタンドL 12kVA電力プラン337kw ②会社全体で電気使用量の見直しを実施 中でもエアコンの使用設定温度を見直し、省エネに努めて参りました。（冷房時） 今まで25℃ 現在27℃	①年間の電気代として166,504円オーバーしていますが、今年の3月以降から効果が出ているので、これを継続していきます。 ②現在も継続中	気候変動対策



選考結果	会社名	活動テーマ	活動内容	活動効果	活動種別
参加賞	三建設工業	現場納品機器の木枠梱包材廃棄物の軽減化	空気熱源ヒートポンプウォールスルーユニットの現場納品時、メーカーからは木枠梱包した状態で納品されるが、現場で木枠解体すると解体に要する時間・解体費・高層ビルの為、解体材の荷下ろし費用そして産廃費が掛かり非効率的で環境にも良くない。そこでメーカーから現場直送を代理店の倉庫に一度納品する方針に変更し、代理店倉庫で木枠を解体し3mタイプのダクトコンテナに乗せ替えて現場納品を行った。	空気熱源ヒートポンプウォールスルーユニット1台当たり木枠が0.013m3程度。納品台数が1360台あるので 17.7m3木枠が現場処分を削減出来た。産廃費(搬出費含む)・木枠解体費を含めて凡そ¥3,500,000-程度コスト削減が出来た。ダクトコンテナで複数台同時に素早く揚重出来たので工期の短縮にも繋がった。	建設産廃物発生抑制
参加賞	ISエンジニアリング株式会社	熱中症対策	・熱中症対策として、そーかいくんIIを作業員65名に配布いたしました。装着方法は、そーかいくんIIに水を含ませてヘルメットに装着します。 効果としては、後頭部をスッポリとカバーし紫外線を99%カット、外気の熱も押さえます。	・お蔭で、熱中症災害は0でした。	その他
参加賞	前田産業	①空調服を着用し、作業効率アップを目指す	①空調服を着用し、作業効率アップを目指す(継続的な取り組み) 空調服を着用することで涼しくなり、作業効率の向上につながると共に、熱中症予防が期待できる。又、夏場の嫌な臭いの原因の多くは、汗で雑菌が繁殖してしまうことで、空調服を着用することによって、服の中を換気してくれるので、雑菌の繁殖を抑え衛生的である。	①26着購入	気候変動対策
参加賞	弘和建商	環境かいぜん	①過去の3拠点で製作していたスチール工場を1か所に集約すべく新工場の建設を行いました。旧工場はすべて壁、屋根共にシングル葺きで夏は暑く冬は凍えそうなほどの寒さがありました。新工場は屋根は2重折半、壁には発泡ウレタンを吹き付け、床は防湿シートにスタイロフォームのうえ厚さ200mmのコンクリートを打設することにより かなりの保温効果があり年中 快適な空間で作業が可能となり、照明はLEDとし、光熱費などが低減できました。 ②定期的に本社南側の河川周りの清掃を行ない環境保全に貢献しています。	月々の電気代が低減しました。	気候変動対策
参加賞	イワキ産業	環境対策	<活動内容> 改修工事等に排出された新築工事には使用しにくい石膏ボード(グ/プト)、岩綿吸音板など、を事務所にて持ち帰り点検口サイズや、ある程度のサイズにカットして事務所にて保管。改修工事にて再利用しています。	現場において時間短縮 粉塵、資材ゴミの減少 運搬時においても既製のサイズなら車2台必要だが、カットしている為、普通車にも載せる事ができます。	建設産廃物発生抑制
参加賞	成豊建設	地球温暖化防止に向けて二酸化炭素排出量の削減	A トンネル施工サイクルの一環である下半支保工建て込み作業をディーゼルエンジン駆動方式であるバックホウでの吊り込みから専用電気駆動方式のエレクターでの建て込み作業に変更した。 B トンネル施工サイクルの一環であるインパートコンクリートの接榫を従来の木枠から転用可能なスポンコン(スポンジ製型枠)に変更し木材の使用を減らした。	A.建て込みに使用した0.7㎡級バックホウ 下半支保工建て込み作業20分/回、2回/日、180日/年稼働 =120hの削減 B.型枠木材の使用を減らし、建設産廃物の発生も減少させた。(コンパネ使用量年間72枚⇒0.528t削減)	気候変動対策
参加賞	サンクスコーポレーション	産廃物削減、熱中症対策、環境対策	1.ガラス梱包資材産廃用ゴミ袋を、各協力会社へ配布して梱包開封時に発生するゴミを回収する際にコンパクトに廃棄を行うようにした。 2.弊社工事管理課 施工管理職6名全員に空調服(バッテリー式含む)を支給して夏季期間現場での着用を行った。 3.協力会社各社へ各現場への通勤車両での相乗りを推進してもらう様に通達を行った。	1.ガラス梱包資材を、産廃用ゴミ袋でまとめる廃棄する事により廃棄容積が軽減して処分場での廃棄スペース確保に繋がった。 2.新しい空調服の着用により、昨年度の現場内猛暑日でも体調管理を万全に作業を行なう事ができた。 3.協力会社各社が、現場への通勤車両相乗りを促進させた事により通勤車両台数の削減に繋がってCO2削減に貢献した	気候変動対策
参加賞	(株)サンユー	熱中症対策	弊社の東京地域担当の協力下請会社所属技能者全員(計120名)に対して、空調服を配布した。 また、現場単位による粉末ボカリスエットの配布も同時期に実施した。	昨年2022年01月～12月の1年間において、熱中症発症者が発生しなかったことから、一定の効果はあったと考えられます。	
参加賞	株式会社ヒロキコーポレーション	CO2排出削減に向けた取り組み	・車両の入れ替え時に見直し、環境に配慮した車両を導入 2022年度 ハイブリッド車 2台 導入 累計7台 燃費が良くなり燃料費の削減になった 次世代クリーンディーゼル搭載車 2台 累計7台 ・作業所において環境配慮型燃料K-S 1を建設機械に使用 使用 17,44ℓ 燃費の向上による燃料の削減、排出ガス中のCO2が削減 ・熱中症対策として接触冷感吸汗速乾UVカット付き長袖シャツを支給 60枚購入 空調服と合わせて着ることで涼しさが増し快適に過ごせる 内勤者も着用することで体感温度が下がり空調の温度設定を上げることができた	ハイブリッド車を導入したことで燃料費とCO2の削減ができた 内勤者も接触冷感シャツを着用することで夏場室内温度を25度から2度上げることができた	気候変動対策
参加賞	株式会社LIXIL	CO2削減と働き方改革	継続活動になりますが、サン取付用の鉄筋棒の溶断を無くす活動をしています。 長い鉄筋棒は溶断ではなく、鉄筋カッターにて切断することで火を使わず、CO2削減環境配慮に繋がる活動を継続しております。	上記同様になりますが、火を使う場を減らすことでCO2削減環境配慮に繋がっております。	気候変動対策
参加賞	株式会社社管	車の排気ガス削減	通勤車両内での休憩時において、CO2削減への貢献を目的として、エンジンを掛けっぱなしにしない様徹底をして、社内で努力しました。	残念ながら冬季、秋口、春先の気温10℃以下においては暖気が必要となり、過年の対策は難しかった。	気候変動対策
参加賞	朝日工業社	衛生・空調配管材料の工場加工による総加工化	2022年1月～2022年12月 ・衛生・空調配管材料の工場加工による総加工化 現場内での配管加工を極力行わず施工図を元に銅管、塩ビ管、φ11φ/管等の配管材料の寸法加工をすべて工場で行った。また発注時には継手、支持類等も併せて集計し不要材の搬入削減に努めた。	・施工図を元に配管材料を全て工場加工化することにより配管材料の端材の削減を行えた。 また廃棄材料産廃処理に関しても工場からの搬出になる為、集積を一元化し搬出車両の台数を削減することが出来たのでCo2排出削減にも貢献できた。	気候変動対策
参加賞	朝日工業社	スリーブ材ユニット化	2022年1月～2022年12月 メイン作業 スリーブ・インサート工事 スリーブ材の搬入で、過去現場で行っていた養生やスタイロフォーム設置、止水リング設置などをすべて工場で行った。 梱包材の削減と端材の削減に努めた。(写真参照)	梱包袋やテープ、スタイロフォーム端材などが削減された。	気候変動対策
参加賞	根本通商	CO2排出削減を目的とした生コンクリート製造	当社直営の、四倉常磐生コン・常磐生コン・郡山常磐生コン(生コンクリート製造工場)にて、CO2排出削減を目的とした、生コンクリートを製造しております。内容:JISコンクリート いわき市内の建設現場に納入 通常の生コンクリートは普通セメントを使用するのに対して、フライアッシュを15%置換した、混合コンクリートを製造 出荷数量:1,000m3(四倉常磐生コン)	地元火力発電所から産出されたフライアッシュを使用することで、地産副産物の地消による循環型社会の形成に貢献。またセメントとの置き換えによるCO2削減を通じ、環境負荷低減を実現。	気候変動対策

選考結果	会社名	活動テーマ	活動内容	活動効果	活動種別
参加賞	株式会社 白木屋	SDGs 推進企業として環境に配慮した経営を目指す	① 太陽光カーポートを設置し再エネ創出・事業所自家消費によるCO2排出量の削減。 ② 社屋の照明のLED化 ③ 電子メモパッド・電子ホワイトボード導入によるペーパーレス化 ④ ペットボトルキャップの回収による資源循環	① ② CO2排出量前年比40～50%減 ② 現在紙の使用量測定中 ③ 目標回収量50%達成	気候変動対策
参加賞	株式会社 糸庄	ガラス梱包材の再利用	ガラス梱包は、基本鉄製パレットで梱包されて各現場に搬入されていますが、運搬途中で鉄製パレット内で動くのを止めるためにPPバンドで結束しております。現場搬入されますと、PPバンドは産廃として破棄していましたが、環境的にも産廃減少の為、PPバンドを再利用できるように梱包をといて2回・3回と再利用して梱包に使用しています。はつきりとした減少率はできませんが、確実に破棄量は減少しております。小さな事ですが、コツコツと継続していこうと思っております。 		建設廃棄物発生抑制
参加賞	高山工業株式会社		(1) 社員・協力会社作業員に「空調服」 「ファン・バッテリー」を2018年配布、2019年は「着替え用」空調服を配布、2020年以降は新規入職者などに購入援助 (2) 5/1～10月末を「熱中症対策期間」を設け、10時・15時の休憩時間前後に職長から「安否確認」の電話連絡をして貰い、連絡ない者には社員から直接電話をして確認する様、実施	1) (2) 関東エリアでは例年0～2件熱中症の報告あったが、2022年は0件であった(2年連続)	気候変動対策
参加賞	藤谷	人にやさしく、地球にやさしく	・社用車を3台ハイブリッドに変更し、今後も順次買い替える ・空調服や付属バッテリーを支給した ・遠方現場では、近くに社宅・ホテルを確保し、そこから通勤させた	・ガソリン燃料の軽減 ・熱中症対策の効用 ・通勤時間・通勤ストレスの削減	気候変動対策
参加賞	田嶋工業	使用電力量の削減	工場、事務所の照明をLEDに交換した。 電力契約を変更した。 省エネ効果の高い機械に更新した。	電気料金高騰により金銭面での効果は分かりにくい、使用料の減少はみられる。	気候変動対策
参加賞	株式会社 AOI	エコアクションへの取組みによるコスト削減への貢献活動	① 電気事業を取り巻く環境変化による、電気料金の高騰及び電力不足による節電要請への対応策として、昨年夏季以降の以下の節電取組み(A・B)を実施。 A. 空調の事務所内設定温度の見直し：夏季：24度⇒26度、冬季：24度⇒22度 B. 節電対策として、終業後の速やかな退社、無駄な居残りの廃止⇒残業時間の削減にも効果有り ② ペーパーレス化への取組みによる、経費コスト・環境資源の削減への対応 弊社は、既にシンククライアントシステムを導入し、メール・データ等の共有化を図っているが、新たに文書管理システムを導入し、クラウドでの管理・共有を図る事で、ペーパーレス化を拡大した。 ③ エコドライブの推進 エコトレーニング講習受講者による「エコドライブ講習」を社内で行った。	① 活動効果 ⇒ 前年比3%以上の節電効果を得た。 ② 活動効果 ⇒ コスト削減・業務効率化にも成果を得ている、また微力ではあるが森林伐採などの環境問題への取組みにも繋がった。 ③ 活動効果 ⇒ 安全運転・エコドライブの実践とCO2削減と地球温暖化防止への意識の向上が出来た。	気候変動対策
参加賞	株式会社 アマノ	「気候変動対策と建設廃棄物の抑制」への取組み	・複数名での現場への通勤に際しては租業リを行い、停車時にはアイドリングストップの実施。 (通勤経路の同方向者は租業リを基本とする。車両のアイドリングストップ (ISS) 機能の活用) ・社用車及び通勤車両を可能な限りハイブリッド車へ変更。 (ガソリン車からハイブリッド車 (アクア・プリウス等) への変更) ・通勤、運搬、工事車両等のエアークリーナーエレメントの3万キロ以内での交換。 (車両運行管理表 (走行距離管理) に基づき適切に指導及びスケジュール点検の実施) ・2015年よりメガソーラーによる発電を行い、e発電所の年間期待発電量：2,400,000kW、年間CO2削減量：約1,200t (杉の木：8,600本相当) に相当するCO2の削減。 (未采社会への貢献、循環型社会へだけでなく地域との調和を図る事を目的としています) ・建築、住宅はもとよりインフラの整備、補修、災害復旧に配慮した工法及び商品の提案。 (大断面構造用集材材：集材材を使用した環境に配慮した取組み) (杉などの間伐材や茎みの出やすいカラマツ、ゴムの木等を有効活用) ・副資材等の小箱ものには簡易梱包とし、現場納入資材へのリンギは再利用可能なものとする。 (小箱詰め梱包されているもので軽量の資材は袋詰めへ変更し現場納入)	・社員及び協力会社作業員の環境に対する意識付け。(太陽光発電の導入による環境保全と省エネ等) ・各自の身近な事に対する取り組み活動への関心度。(エコバックの活用等) ・ごみの減量と分別に対する向き合い方。(簡易梱包、再利用材の使用等)	気候変動対策 建設廃棄物発生抑制